

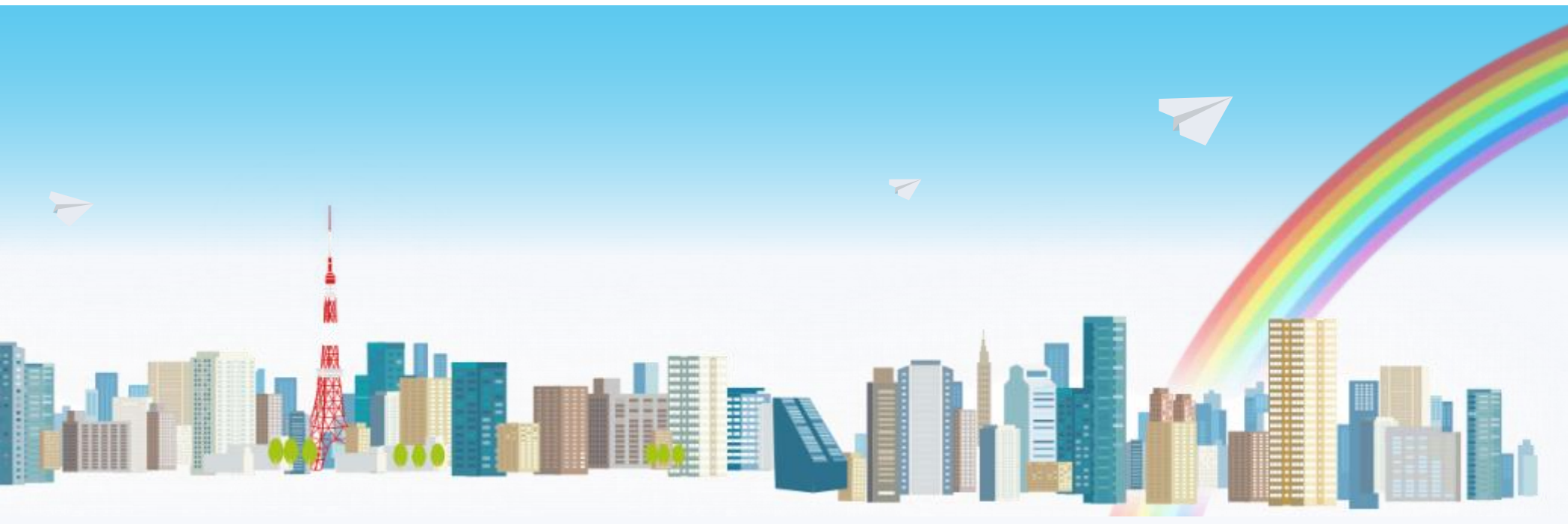
2024年1月26日



2023年11月期 決算説明会資料

AHCグループ株式会社

証券コード：7083



1	2023年11月期 実績	3P
2	2023年11月期 主要な取組み	14P
3	2024年11月期 通期業績予想	20P
4	2024年11月期 重点施策	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	28P



1	2023年11月期 実績	3P
2	2023年11月期 主要な取組み	14P
3	2024年11月期 通期業績予想	20P
4	2024年11月期 重点施策	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	28P



- 売上高は前期・今期に開設した事業所の立ち上がりが順調に推移し、1,010百万円増の5,915百万円となった。加えて収益改善施策も一定の効果を得られ、営業利益は20百万円、経常利益は70百万円となった

(単位：百万円)

	2022年11月期 実績 (2021/12~2022/11)		2023年11月期 実績 (2022/12~2023/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	4,904	100.0%	5,915	100.0%	1,010	20.6%
売上原価	4,657	95.0%	5,401	91.3%	744	16.0%
売上総利益	247	5.0%	513	8.7%	266	107.9%
販売費及び一般管理費	462	9.4%	493	8.3%	30	6.5%
営業利益又は営業損失	△215	△4.4%	20	0.3%	236	-
経常利益又は経常損失	△200	△4.1%	70	1.2%	271	-
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失	△253	△5.2%	67	1.1%	321	-



- 外食事業では既存店舗の客数が予想に対して増加、食品の加工・物流事業で予想に対し取引量が増加したものの、福祉・介護事業はコロナ禍等により、予想よりも利用キャンセルが増加、さらに新規事業所の開設を見送ったため、売上高が減少した
- 事業所運営費用等の抑制、給付金の計上等により、経常利益は予想を上回った

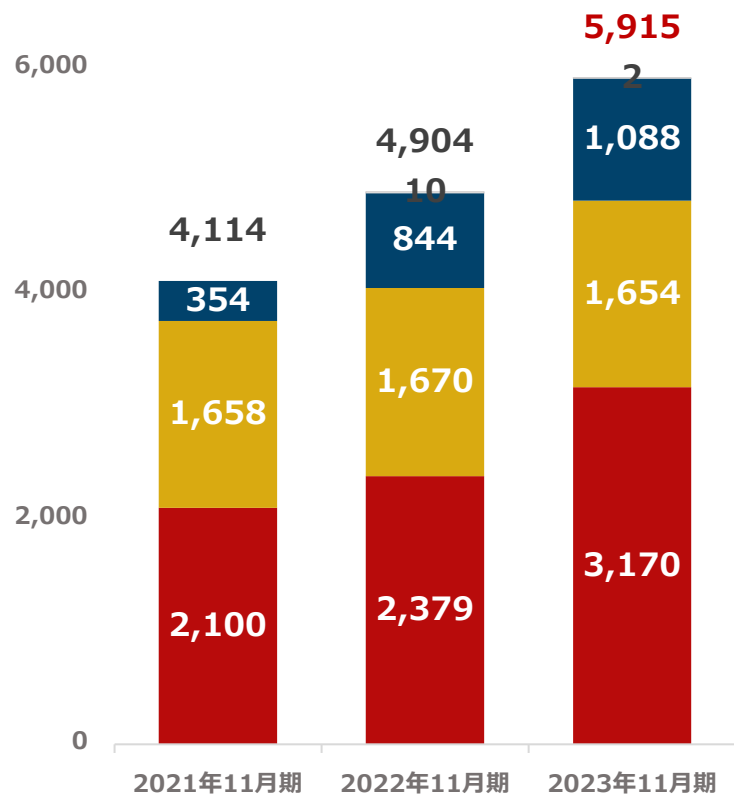
(単位：百万円)

	2023年11月期 予想 (2022/12~2023/11)		2023年11月期 実績 (2022/12~2023/11)		予想比 増減額	予想比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	6,168	100.0%	5,915	100.0%	△253	△4.1%
営業利益	61	1.0%	20	0.3%	△41	△66.8%
経常利益	50	0.8%	70	1.2%	20	40.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12	0.2%	67	1.1%	54	422.1%



売上高の推移

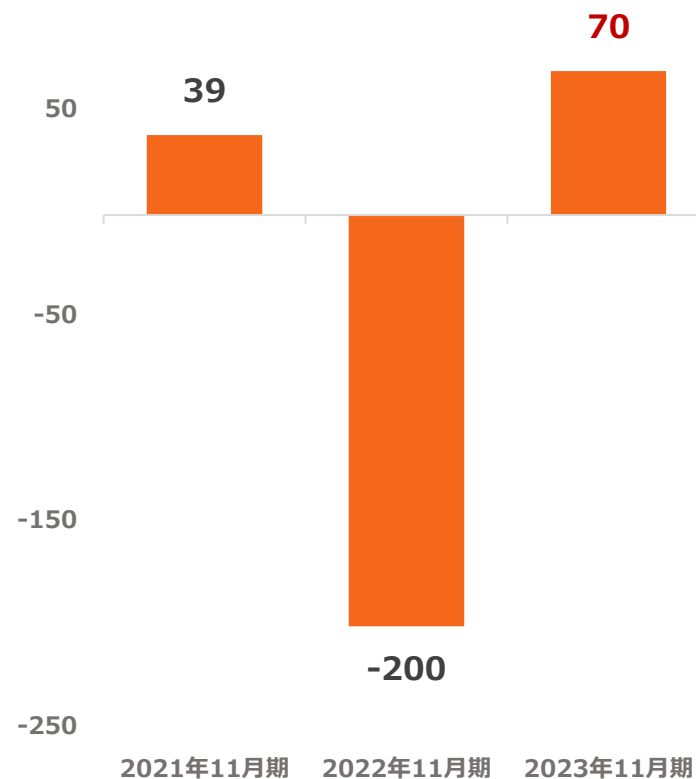
(単位：百万円)



■ 福祉事業 ■ 介護事業 ■ 外食事業 □ 調整

経常利益の推移

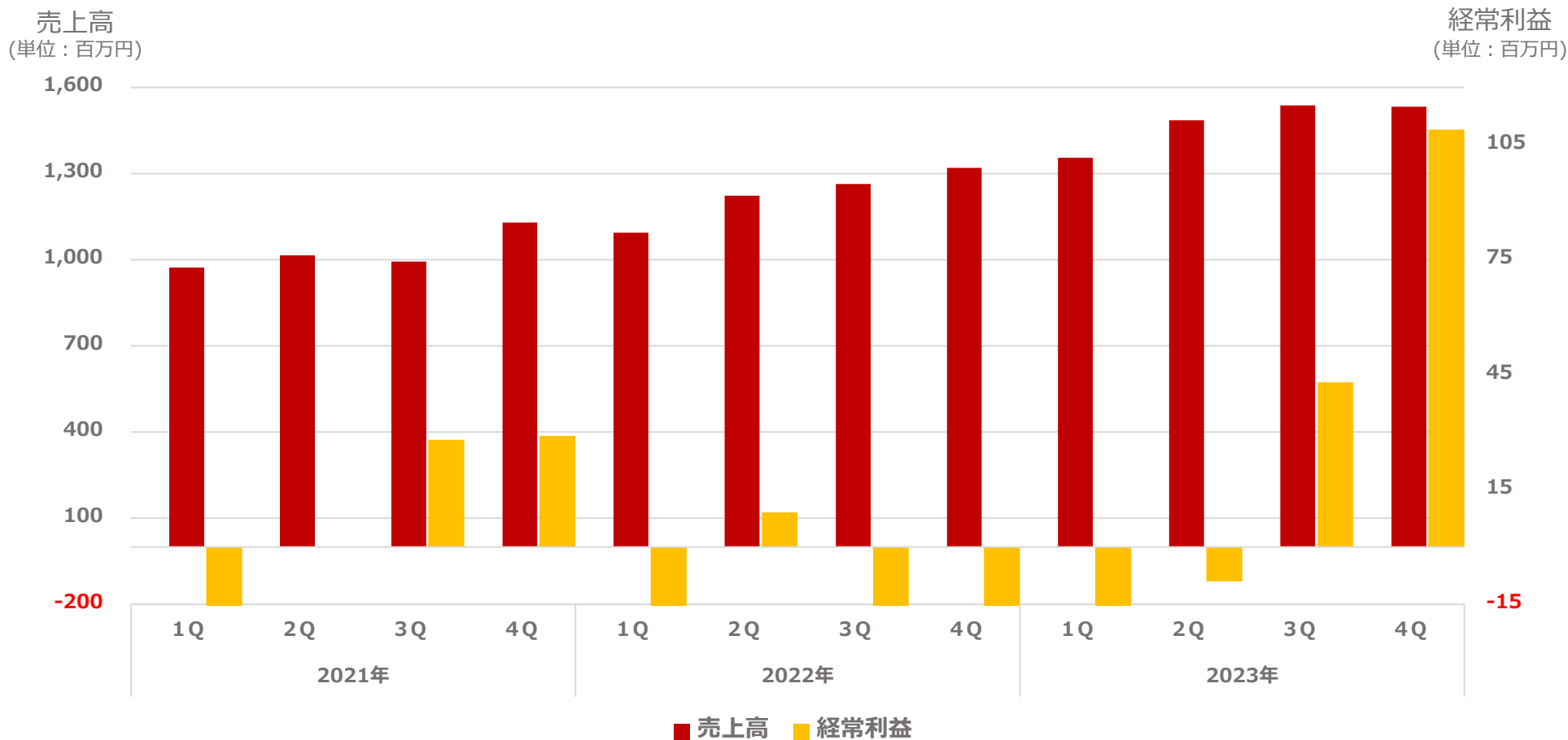
(単位：百万円)



2021年11月期 2022年11月期 2023年11月期

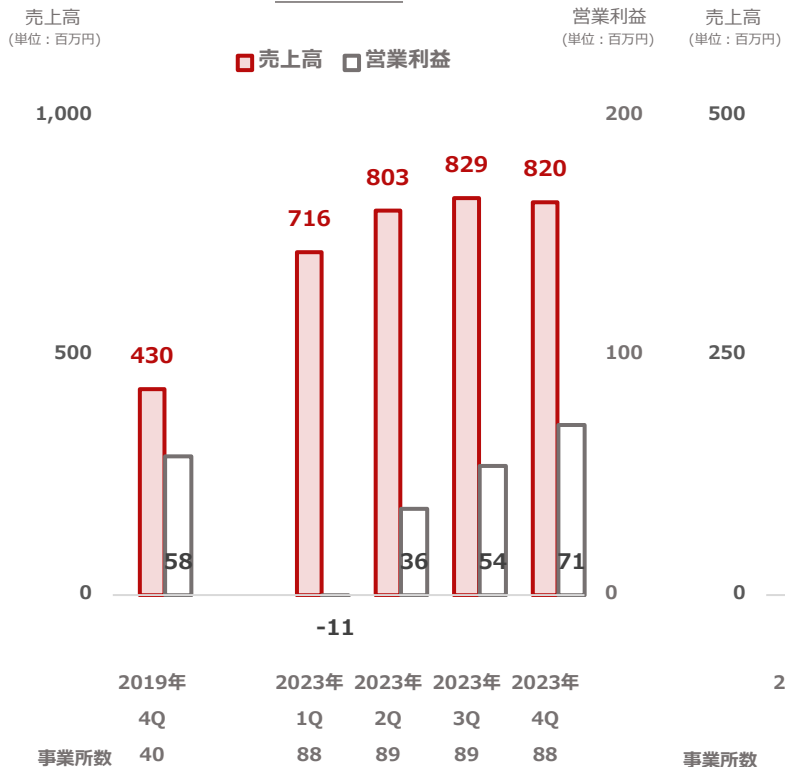


- 売上高は新規開設施設の立ち上がりが順調に貢献した。経常利益は第3四半期以降、収益改善施策の効果が表れ増加した

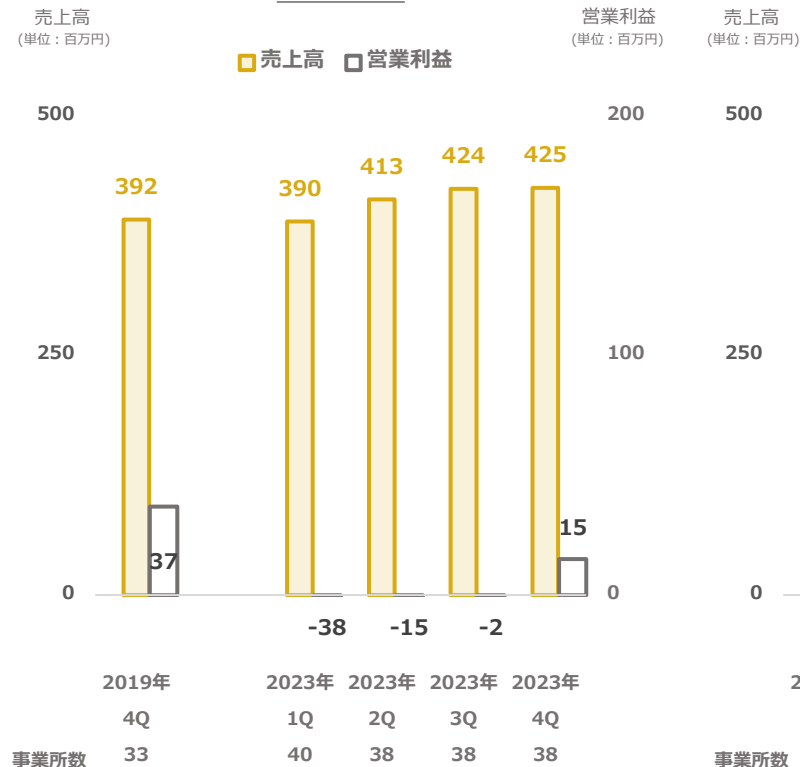


- 福祉・外食事業はコロナ禍前の営業利益まで回復した
- 介護事業は回復が遅れていたものの、大幅な赤字は回避した

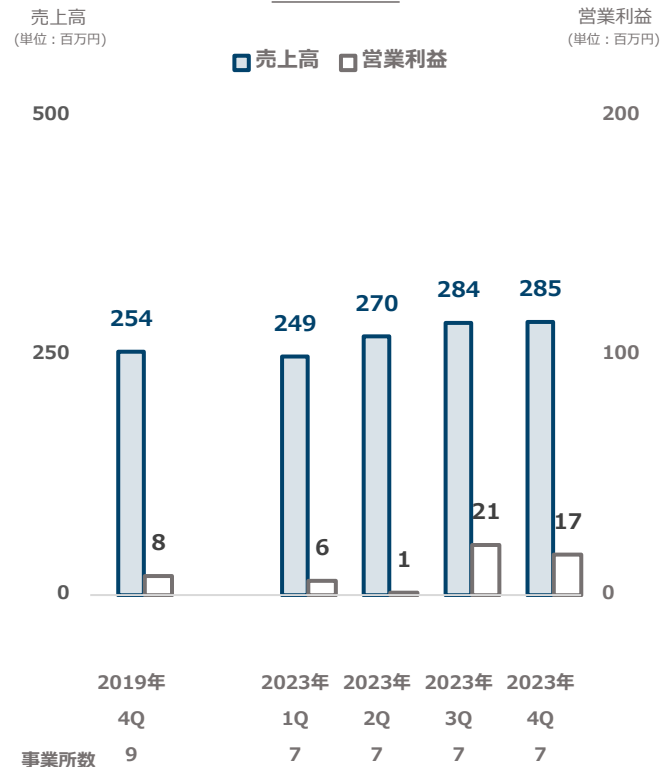
福祉事業



介護事業



外食事業



- 売上原価は人件費率の改善により抑制された
- 販売費及び一般管理費は主にM&Aによるのれん償却費が増加した

(単位：百万円)

	2022年11月期 実績 (2021/12~2022/11)		2023年11月期 実績 (2022/12~2023/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	4,904	100.0%	5,915	100.0%	1,010	20.6%
売上原価	4,657	95.0%	5,401	91.3%	744	16.0%
(人件費)	2,293	46.8%	2,634	44.5%	340	14.8%
(原価外食食材費)	425	8.7%	549	9.3%	124	29.3%
(地代家賃)	516	10.5%	563	9.5%	47	9.1%
(その他)	1,421	29.0%	1,654	28.0%	232	16.4%
販売費及び一般管理費	462	9.4%	493	8.3%	30	6.5%
(人件費)	90	1.8%	93	1.6%	3	3.8%
(地代家賃)	10	0.2%	12	0.2%	1	16.5%
(その他)	361	7.4%	386	6.5%	24	6.9%
営業利益又は営業損失	△215	△4.4%	20	0.3%	236	—



- 福祉事業は売上・利益ともに前期より増加したものの予想数値には未達となった
- 介護事業はコロナ禍とインフルエンザの要因により売上・利益ともに予想数値に未達となった
- 外食事業は順調に回復が進み、売上・利益ともに前期を上回り、予想数値も達成した

(単位：百万円)

		2022年11月期 実績 (2021/12~2022/11)	2023年11月期 予想 (2022/12~2023/11)	2023年11月期 実績 (2022/12~2023/11)	前期比 増減額	予想比 増減額
		金額	金額	金額		
福祉事業	売上高	2,379	3,335	3,170	790	△165
	営業利益	60	179	151	91	△28
介護事業	売上高	1,670	1,809	1,654	△16	△155
	営業利益	△45	37	△40	5	△77
外食事業	売上高	844	1,023	1,088	244	64
	営業利益	△54	8	47	102	39
調整額	売上高	10	-	2	△8	2
	営業利益	△175	△163	△138	37	25
計	売上高	4,904	6,168	5,915	1,010	△253
	営業利益	△215	61	20	236	△41

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



2023年11月期は合計5事業所の開設、事業譲受により1事業所取得

修正計画(通期)：グループホーム4(51居室)、就労継続支援B型1(事業譲受)、居酒屋店舗1

実績(通期)：グループホーム4(51居室)、就労継続支援B型1(事業譲受)、居酒屋店舗1

事業所数の推移

■ 福祉事業：4事業所51居室を開設

共同生活援助（グループホーム） 4事業所

- ・千葉県 1事業所(27居室)
- ・埼玉県 1事業所(6居室)
- ・三重県 2事業所(18居室)

就労継続支援B型 1事業所

- ・三重県 「ラシーヌけんこうソムリエファーム」(1月)

※事業譲受

■ 外食事業：1店舗を開設

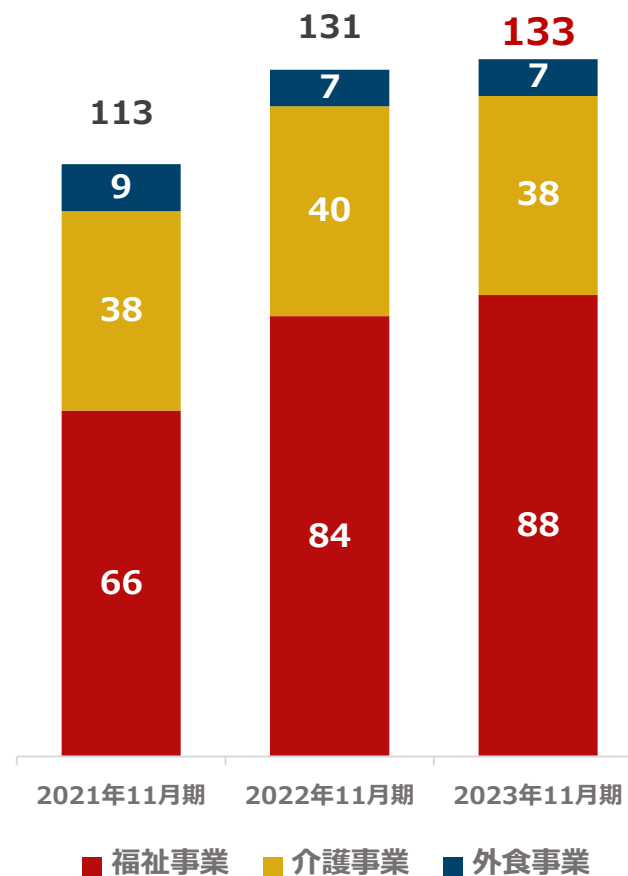
居酒屋店舗

- ・東京都 「ニュー大衆居酒屋 三ぞう」(4月)

※就労継続支援B型1事業所閉鎖

※介護デイサービス2事業所閉鎖

※テイクアウト1店舗閉店



(単位：百万円)

	2022年11月期実績	2023年11月期実績	前期比 増減額
流動資産	3,111	3,188	76
固定資産	2,092	2,058	△33
(有形固定資産)	1,219	1,225	5
(無形固定資産)	343	340	△2
(投資その他の資産)	528	491	△36
総資産	5,206	5,246	40
負債	4,120	4,089	△31
(流動負債)	1,061	972	△88
(固定負債)	3,058	3,116	57
純資産	1,085	1,157	71

■ 流動資産の増減要因

➢ 売掛金の増加(+71百万円)

■ 固定資産の増減要因

➢ 投資不動産の売却による減少(△84百万円)

■ 負債の増減要因

➢ 未払金の減少(△38百万円)

■ 純資産の増減要因

➢ 繰越利益剰余金(+67百万円)



- 事業所開設のため固定資産の取得をした一方、今後の事業戦略のため不動産の一部を売却した。資金確保については返済金額とのバランスを考慮して調達した

(単位：百万円)

	2022年11月期 実績	2023年11月期 実績
税金等調整前当期純利益	△241	75
営業活動によるC F	△102	97
子会社株式の取得による支出	△365	－
有形固定資産の取得による支出	△633	△364
有形固定資産の売却による収入	125	315
無形固定資産の取得による支出	△3	－
投資活動によるC F	△909	△94
短期借入金の増減額	50	△50
長期借入れによる収入	975	560
借入金返済による支出	△437	△521
財務活動によるC F	582	△15
現金及び現金同等物の増減額	△429	△11
現金及び現金同等物の期首残高	2,488	2,058
現金及び現金同等物の期末残高	2,058	2,047



1	2023年11月期 実績	3P
2	2023年11月期 主要な取組み	14P
3	2024年11月期 通期業績予想	20P
4	2024年11月期 重点施策	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	28P



継続した事業所の開設

グループホーム4事業所(51居室)を開設

- 介護包括型：埼玉県・三重県
- 日中支援型：千葉県・三重県

重度の障害者の受け入れを可能とする、日中サービス支援型のグループホームを2事業所(30居室)を開設

M&Aの推進

就労継続支援B型事業所の事業譲受

- 三重県で就労継続支援B型運営の実現
- 単月での黒字化を実現

(株)RAISE/(株)CONFELのPMIが順調に進捗

組織の改編

福祉事業を首都圏と東海・関西地域に分割

- 意思決定のスピードが向上
- PMIが順調に進捗
- リーダー人材の育成に着手

スクラップ&ビルドの推進

テイクアウト業態閉店し居酒屋業態を開店

- 居酒屋店舗で単月黒字化を実現

介護事業所を2事業所閉鎖

- 宿泊型事業所を閉鎖
- 夜間のコスト削減、人員の再配置



売上高295百万円、営業利益47百万円が加わり、グループの事業収益基盤が拡大

社名	(株)RAISE	(株)CONFEL
資本金	1百万円	9.9百万円
事業内容	福祉事業 放課後等デイサービスの運営 他	福祉事業 放課後等デイサービスの運営 他
事業所数※	4事業所 ※2023年9月:1事業所閉鎖	4事業所 ※2022年11月:1事業所休止
地域	愛知県犬山市、豊田市	愛知県豊橋市、豊田市、豊川市
株式の取得価額	197百万円	272百万円
のれん金額	100百万円	194百万円
2023年11月期 売上高※	146百万円	148百万円
2023年11月期 営業利益※	32百万円	14百万円

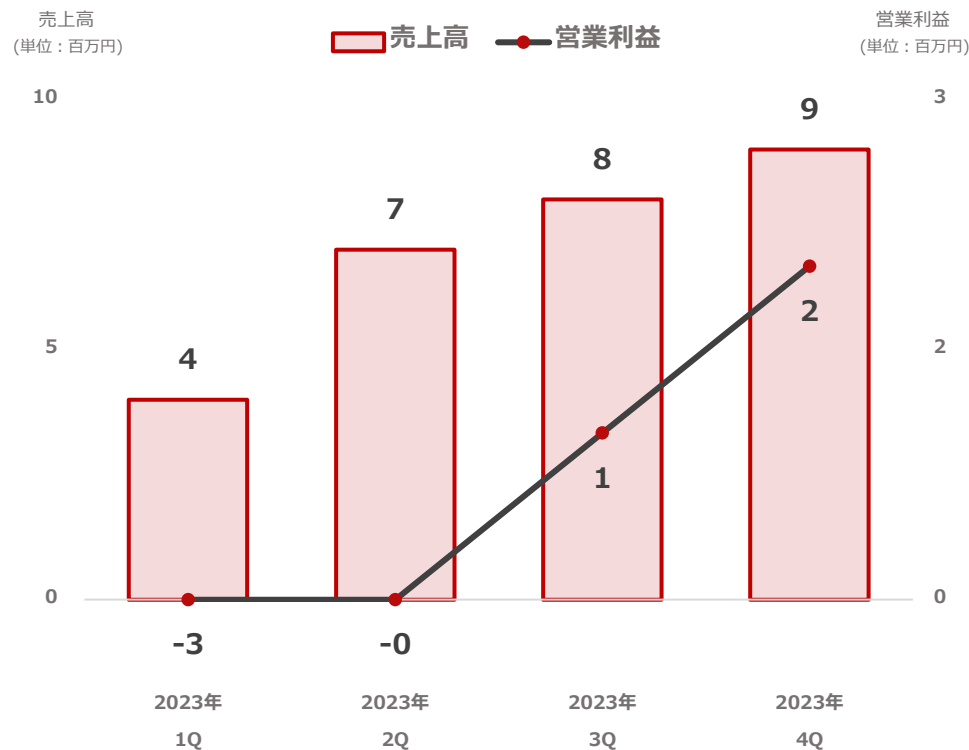
※事業所数は株式取得時の事業所数

※売上高 及び 営業利益には株式取得後に増加した事業所の業績は含んでおりません



2023年1月に事業譲受した就労継続支援B型事業所『ラシーヌけんこうソムリエファーム』は、売上高・営業利益ともに順調に推移

運営法人	(株)CONFEL
事業内容	福祉事業 就労継続支援B型事業所の運営
事業所数	1事業所
地域	三重県亀山市
取得原価	36百万円
のれん金額	16百万円
2023年11月期 売上高	29百万円
2023年11月期 営業利益	0.6百万円



既存事業所の収益改善

■ 福祉事業・介護事業

- レクリエーション等のイベントにより利用動機を促進(福祉・介護)
- 施設利用頻度の増加提案を実施(福祉・介護)

利用者数(延べ人数)の推移

	1Q	2Q	3Q	4Q	増加率
福祉事業	56,021	61,365	61,356	60,738	8.4%
介護事業	37,577	40,010	41,221	40,923	8.9%

※増加率は第1四半期会計期間と第4四半期会計期間の利用者延べ人数の対比

- 有資格者を採用(福祉)
加配加算配置人員：2022年11月末「216名」
2023年11月末「243名」・・・27名の増加
- 仕入先の見直し
消耗品の仕入先を変更



既存事業所の収益改善

■ 外食事業

- 居酒屋メニューのブラッシュアップにより客単価を向上

平均客単価：2022年11月期「3,266円」

2023年11月期「3,373円」・・・客単価107円UP

- 加工・物流センターの販路拡大

新規納品先：新規取引先「36店舗」開拓

- 仕入先の見直し

居酒屋店舗 原価率：2022年11月期「31.0%」

2023年11月期「30.7%」・・・原価率△0.3%

加工センター 原価率：2022年11月期「86.3%」

2023年11月期「86.0%」・・・原価率△0.3%

1	2023年11月期 実績	3P
2	2023年11月期 主要な取組み	14P
3	2024年11月期 通期業績予想	20P
4	2024年11月期 重点施策	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	28P



- 新規事業所の開設、既存事業所の収益改善、スクラップ&ビルドを推進し、持続的成長に向けた経営基盤の強化を図る
- 売上高は6,315百万円(前期比6.8%増)、営業利益は120百万円(前期比489.4%増)、経常利益107百万円(52.4%増)と予想

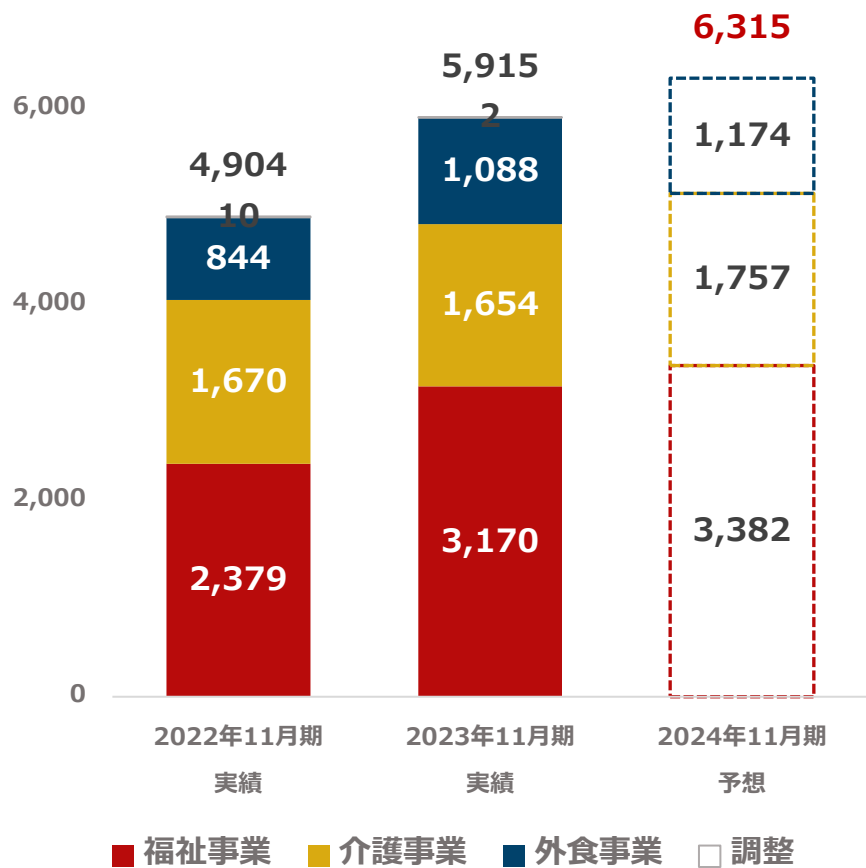
(単位：百万円)

	2023年11月期 実績 (2022/12~2023/11)		2024年11月期 予想 (2023/12~2024/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	5,915	100.0%	6,315	100.0%	400	6.8%
営業利益	20	0.3%	120	1.9%	100	489.4%
経常利益	70	1.2%	107	1.7%	36	52.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	1.1%	70	1.1%	2	3.6%



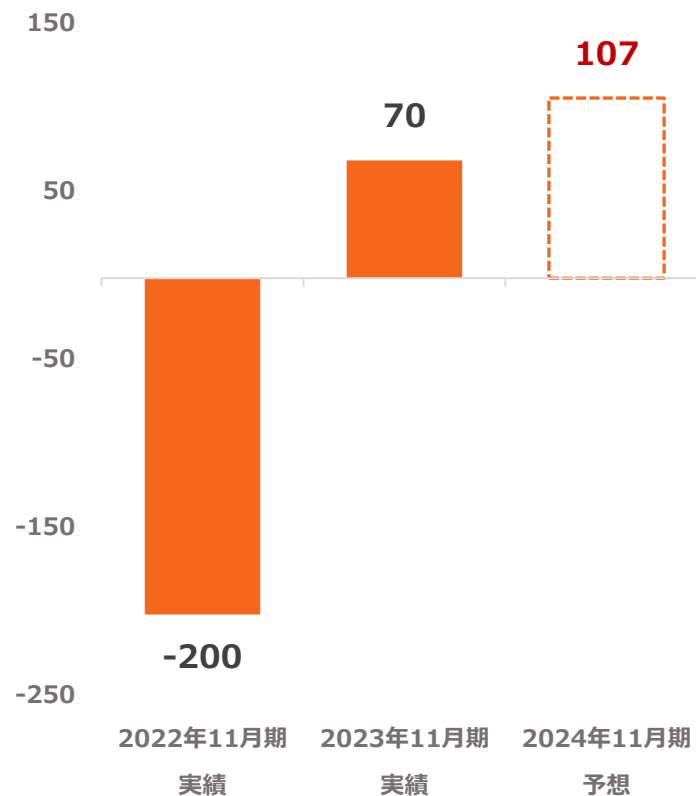
売上高の推移

(単位：百万円)



経常利益の推移

(単位：百万円)



- 福祉・介護事業は前期・今期開設事業所の立ち上がり、ご利用者の利用動機を高める施策を実施し、稼働を維持していくものと想定
- 外食事業は、前期・今期開設店舗の立ち上がり、販売促進の強化により固定客の来店頻度を向上、コロナ禍前と同等以上の回復を想定

(単位：百万円)

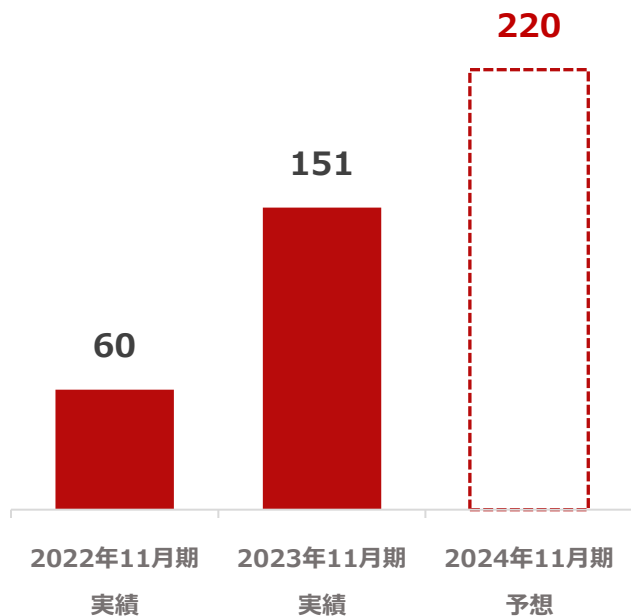
		2023年11月期 実績 (2022/12~2023/11)	2024年11月期 予想 (2023/12~2024/11)	前期比 増減額	前期比 増減率
		金額	金額		
福祉事業	売上高	3,170	3,382	212	6.7%
	営業利益	151	220	69	46.1%
介護事業	売上高	1,654	1,757	103	6.2%
	営業利益	△40	38	78	-
外食事業	売上高	1,088	1,174	86	7.9%
	営業利益	47	47	△0	△0.3%
調整額	売上高	2	-	△2	-
	営業利益	△138	△185	△47	-
計	売上高	5,915	6,315	400	6.8%
	営業利益	20	120	100	489.4%

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去

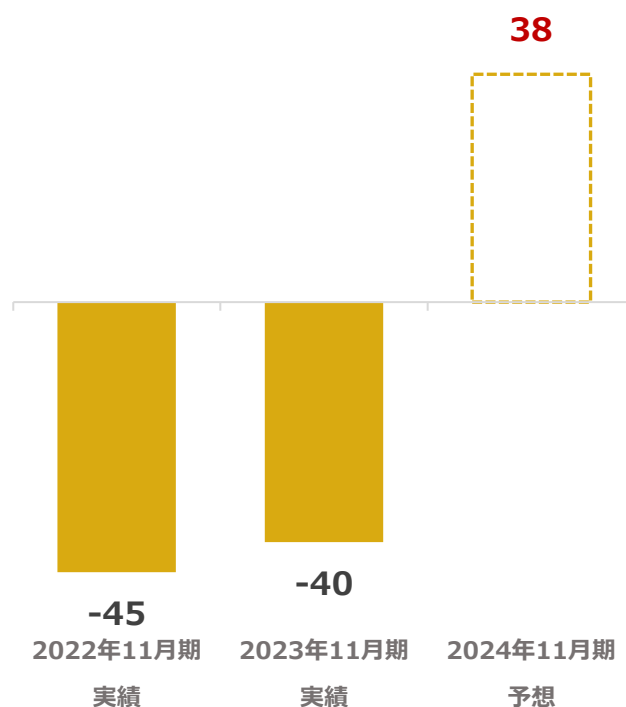


(単位: 百万円)

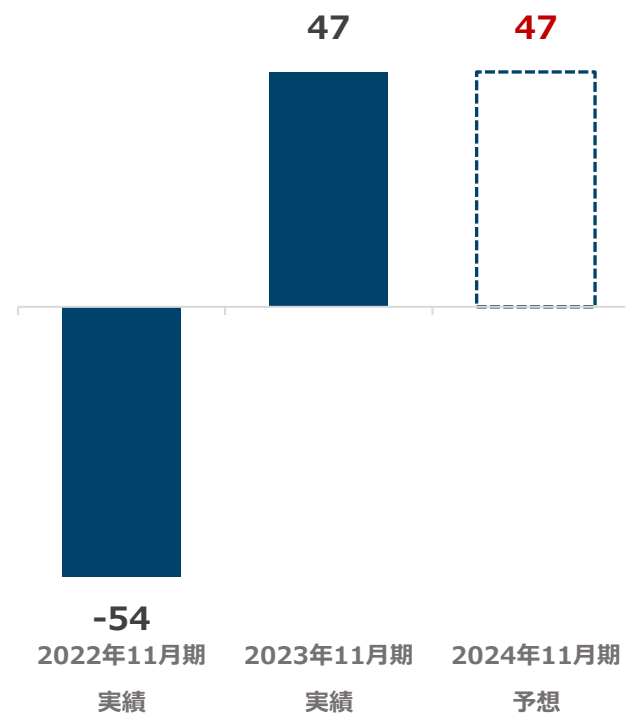
福祉事業



介護事業



外食事業



2024年11月期は合計5事業所の開設計画

■ **福祉事業：3事業所13居室の開設計画**

共同生活援助（グループホーム） 2事業所(13居室)

就労継続支援B型 1事業所

・千葉県 「就労継続支援B型事業所 TODAY弁天」

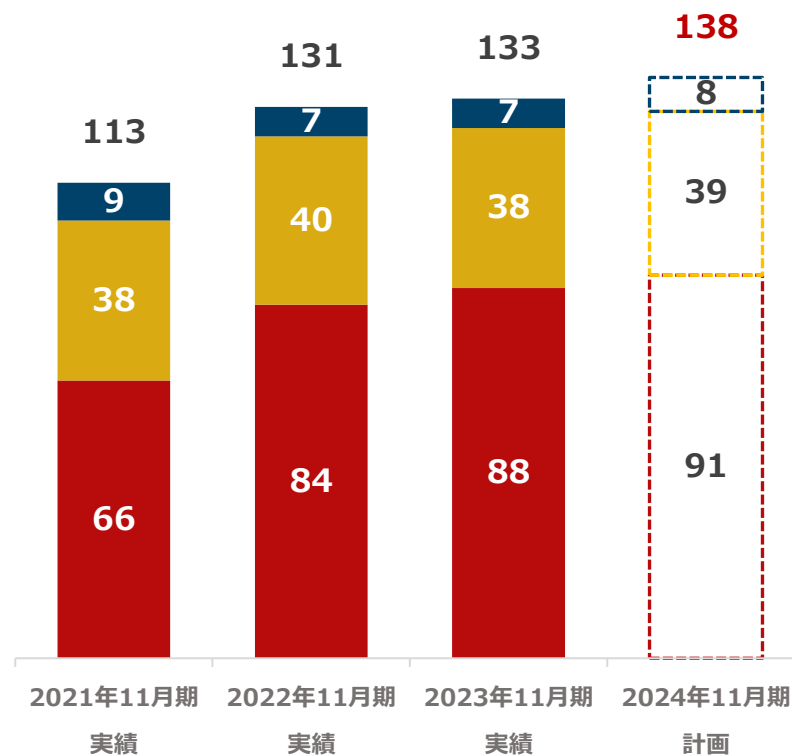
■ **介護事業：1事業所の開設計画**

通所介護デイサービス 1事業所

■ **外食事業：1店舗の開店計画**

居酒屋 1店舗

事業所数の推移



■ 福祉事業 ■ 介護事業 ■ 外食事業



1	2023年11月期 実績	3P
2	2023年11月期 主要な取組み	14P
3	2024年11月期 通期業績予想	20P
4	2024年11月期 重点施策	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	28P



2024年11月期は以下の施策を推進

効率的な
事業所の開設

継続的な成長に向けた事業所の新規開設とともに経営効率を向上させるスクラップ&ビルドを推進

ポストコロナの
体制再構築

今後の成長を視野に強固な体制構築のため、マネジメント体制・収益体制の再構築を推進

報酬改定の対応

2024年4月の報酬改定に、即時・柔軟に対応する体制づくりを推進

新たな成長ドライバーの創出

既存業態の進化及び新規業態への取組みを推進



1	2023年11月期 実績	3P
2	2023年11月期 主要な取組み	14P
3	2024年11月期 通期業績予想	20P
4	2024年11月期 重点施策	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	28P



AHCグループは、『人を想う』という共通理念の下、多様な価値観を認め合い、すべての人が自分らしく活躍できる社会の実現を目指しております。

この実現に向け、関わり合うすべての人が希望にあふれる未来を創造できるよう社会福祉を中心に事業活動を行い、ご利用者様、株主様、お取引先様、従業員、地域社会等すべてのステークホルダーとの良好な関係を築き、中長期的な企業価値の向上に努めることで、持続可能で豊かな社会づくりに貢献してまいります。

マテリアリティ

取り組みテーマ

Environment
(環境)

環境負荷の低減



- 省エネルギー製品の導入
- 食材の有効活用

Social
(社会)

健康的な生活環境の提供



- 生活レベルの維持・向上を促す施設の提供
- 障害者・高齢者に配慮した福祉サービスの提供

働きがいのある職場の提供



- 柔軟で安全・安心な労働環境の促進

質の高い教育の場の提供



- 利用者の療育活動や生涯学習機会の提供
- 従業員への教育機会の創出

差別のない公平な社会の実現



- ダイバーシティ & インクルージョンの推進
- あらゆる形態の暴力・虐待の排除

Governance
(ガバナンス)

ガバナンス体制の強化



- 持続可能な経営基盤構築の推進





持続可能な社会への貢献を目指す
環境循環型モデル事業「GROWTH FIELD」

①障害福祉サービス事業とともに、循環型のきのご栽培・販売、昆虫飼育・販売を実現する

昆虫育成後の廃マットは
畑の養分になるため土へ返す



きのご栽培(菌床椎茸の栽培・販売)



※純国産の菌床を使用した、
千葉県産の菌床椎茸として販売



栽培後の廃菌床に養分を足して発酵させる



ヘラクレスオオカブト等の昆虫の幼虫を育てる
「昆虫マット」として活用



②付加価値の高い仕事場の提供(福祉課題の解決)

付加価値の高い仕事場を提供することで、就労継続支援B型事業所「TODAY」利用者の「多様性のある社会参加」と「工賃向上」を推進

「きのこハウス」
(菌床椎茸の栽培・販売)



「ヘラクレスデザインラボ」
(ヘラクレスオオカブト等の飼育・販売)



施設外就労 作業工賃

就労継続支援B型事業所
+oday



当社グループは 社会福祉に特化した人生の総合サポート企業です

会社名	AHCグループ株式会社 (エイエイチシーグループ)
本店所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目11番9号 イトーピア橋本ビル2F
代表者	代表取締役社長 荒木喜貴
設立	2010年1月
資本金	51,706千円 (2023年11月30日現在)
従業員人数	478人 (2023年11月30日現在) ※パート・アルバイト除く
業種	福祉事業、介護事業、外食事業 他

グループ会社 (連結子会社)

- S Lカンパニー株式会社 (福祉事業所の運営)
- テラスワールド株式会社 (福祉事業所の運営)
- 介護ジャパン株式会社 (介護事業所の運営)
- センターネットワーク株式会社
(食材の仕入・加工・物流)
- 株式会社 R A I S E (福祉事業所の運営)
- 株式会社 C O N F E L (福祉事業所の運営)



2007

2007年
介護事業スタート

通所介護(デイサービス)事業所を開設



2008

2008年
外食事業スタート

飲食店舗を開設



2010

AHCグループ(株)設立

介護事業でのノウハウを活かし
未就学～成人後までサポートできる福祉事業を展開

2014

2014年
福祉事業スタート

放課後等デイサービス(児童発達支援含む)
事業所を開設



6歳～18歳対象

2016

就労移行支援事業所を開設
就労継続支援B型事業所を開設



18歳～64歳対象

18歳以上対象

2018

障害児相談支援・計画相談支援事業所を開設

0歳～対象

2019

共同生活援助(介護包括型)事業所を開設
未就学児に特化した児童発達支援事業所を開設



18歳以上対象

未就学児対象

2020

東証マザーズ上場

生活介護事業所を開設



18歳以上対象

2021

共同生活援助(日中支援型)事業所を開設
GROWTH FIELDプロジェクトを開始

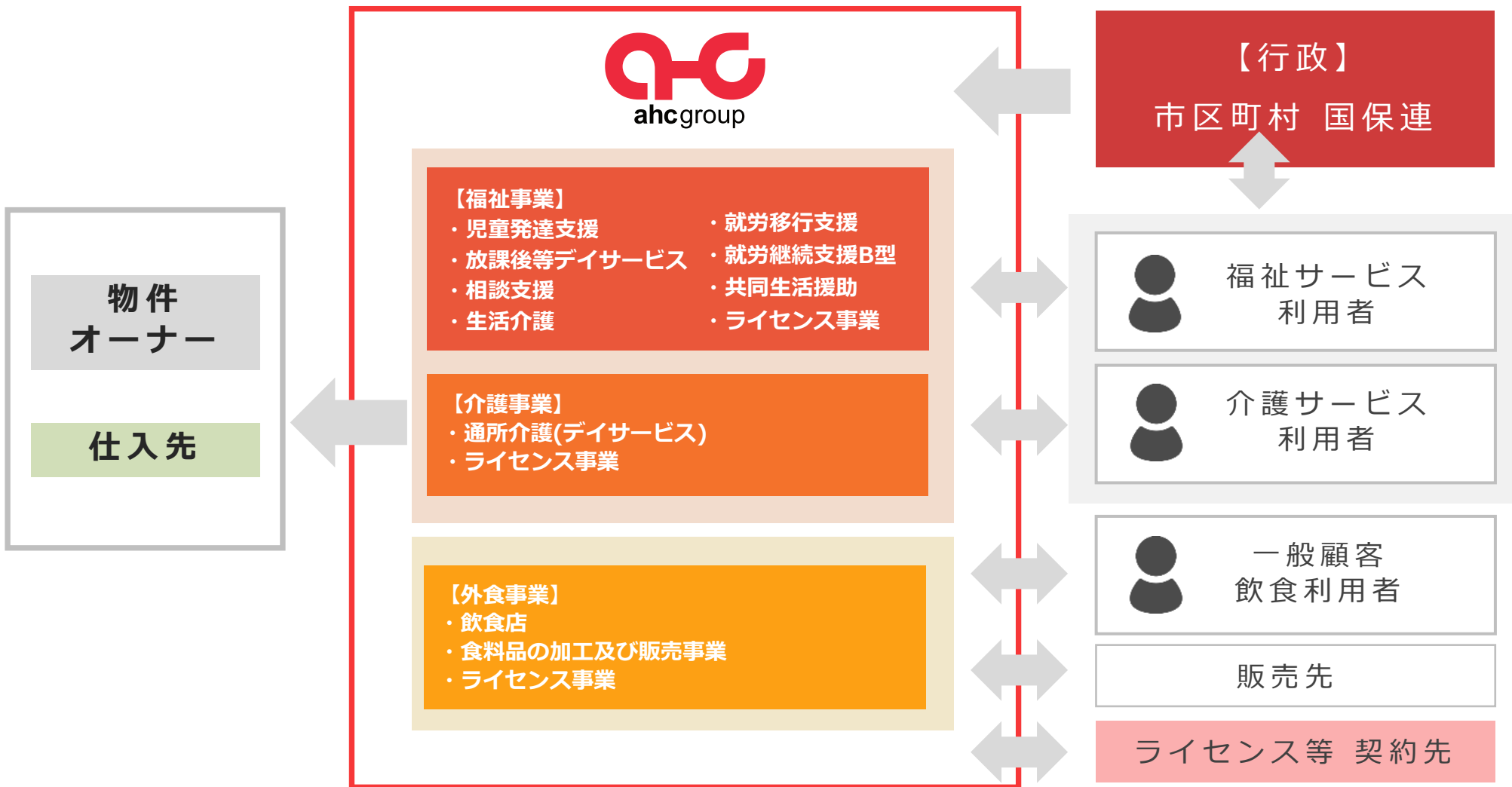


18歳以上対象

2022

(株)RAISE・(株)CONFEL
子会社化

福祉・介護・外食の3事業を中核として事業展開



働くこと・自立していくことを実現させる多様なサービスを提供

福祉事業：業態別概要



《児童発達支援・放課後等デイサービス》

知的障害・発達障害を抱える未就学児・小学生・中学生・高校生を対象とした生活能力の向上のために必要な訓練等の療育プログラム、社会との交流促進につながる外出プログラム等を提供



《就労移行支援》

企業への就労を希望する65歳未満の障害や難病を持つ方に、具体的な就労相談や就業体験等を促し、一般企業への就労実現を支援



《就労継続支援B型》

生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待され、雇用契約どおりの就業が困難な障害を持つ方に、生産活動とそれを通じた工賃の支払いの場を提供



《共同生活援助(グループホーム)》(介護包括型・日中支援型)

共同生活を営む住居を提供
障害を持つ方に、共同生活を営む住居で相談や入浴、食事の提供やその他の日常生活上の援助を実施



《生活介護》

介護を必要とする障害を持つ方に、主に昼間において、日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供や身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を実施



地域に根ざし、個別サービスを提供することで高い稼働を実現

介護事業：通所介護(デイサービス)概要



《デイサービス クラス》

日常に近い環境の中で過ごして頂くことができるデイサービス
朝食と夕食・宿泊サービスを実施し、24時間切れ目のない介護を提供



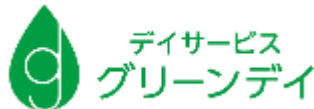
《デイサービス あいである》

1日の通所型レクリエーションが充実しているデイサービス
大浴場を設置し、入浴サービスを実施



《介護予防運動デイサービス KAGAYAKI》

午前又は午後の短時間型で機能訓練を中心としたデイサービス
スクエアステップエクササイズにより認知機能・歩行機能の向上
自立度が高いご利用者様が多く、集団体操の他、個別対応時間を多く提供



《デイサービス グリーンデイ》

1日の通所型で入浴とリハビリを両立したデイサービス
ストレッチ・コアエクササイズ・マシントレーニングの機能訓練メニューを提供
プライバシーを守るため、個別入浴サービスを実施



《デイサービス トリコロール》

1日の通所型で食・運動・娯楽にこだわったサービスを曜日毎にプログラムを変えて実施しているデイサービス

働く世代をメインターゲットにした店舗を展開

外食事業：業態別概要



《ねぎま三ぞう》

30代～40代のサラリーマン層をメインターゲットとして「ねぎま」「煮込み」「鮮魚」をメニューの柱とした高品質・低価格を実現した大衆居酒屋業態



《ニュー大衆居酒屋三ぞう》

20～30代の若者をメインターゲットとして「煮込み」「餃子」「牛タン」「ねぎま」を名物とした現代らしいモダンでお洒落な雰囲気の大衆居酒屋業態



《Bistro TERIYAKI》

ワインと本格ビストロをリーズナブルに提供する居酒屋業態
デートやお祝い、歓送迎会などハレの日の需要に対応

TOPIC

ニュー大衆居酒屋 三ぞう池袋芸術劇場前店 2023年4月14日OPEN





関わる全ての人を想う
というささやかな一歩を、コツコツと積み重ね、
想いを深く広げていく先に、
希望にあふれる未来を創造します

免責事項

- ・本資料に掲載されている将来情報等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。また、当社グループの事業を取り巻く、経済情勢、市場動向等の様々な要因の変化により、実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますので予めご承知おきください。
- ・本資料は、当社及び当社グループを理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却等を勧誘するものではありません。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる情報の更新・修正を行う責務を負うものではありません。

【お問合せ先】

AHCグループ株式会社 経営管理部 I R 担当

TEL : 03-6240-9550

E-mail : info-ir@ahc.co.jp

